

ニッペ DAN[®] フィラーエポS

建物を長くまもるための選択。

〈特長〉

①弾性機能を持ち、下地のひび割れに追従して防水性を付与できます。

JIS A 6909「可とう形改修塗材RE」および「防水形複層塗材RE」の主材として使用できます。

②吹付け塗装専用です。

タイルガンにより、平滑模様(ゆず肌)や凹凸模様が可能です。

③長期間、クラック追従性を維持します。

美観の維持はもちろん、中性化を抑制し、建物の保護に貢献します。

④強い付着力で下地に密着。

各種旧塗膜や上塗り材への密着にすぐれています。
(エポキシ含有特殊反応硬化形樹脂エマルジョン配合)

⑤透湿性を有しています。

塗膜には透湿性がありますので、背面からの水分の影響を緩和し、膨れや剥離を抑制します。

⑥ワンランク上の仕上がり。

塗膜表面がなめらかできめ細やか(シルクフェイス機構)なので上塗りの仕上がりを引き立てます。

〈標準塗装仕様〉

JIS A 6909 可とう形改修塗材REのシーラーレス塗り替え改修仕様例

平滑模様(ゆず肌)

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地改修工事	下地改修工事が必要な場合は、下地調査結果に基づいて、塗装工事前に実施する。						
下地調整	活膜を残し、膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺部分を含めて入念に除去する。 ごみ、砂じん、油分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
中塗り1	ニッペDANフィラーエポS	1	0.80~1.30	4時間以上	水道水	5~10	吹付け (タイルガン)
中塗り2	オーデフレッシュ共通中塗	1	0.12~0.17	3時間以上	水道水	5~10	ウールローラー エアレススプレー
上塗り	スーパーオーデフレッシュSi	1	0.12~0.17	—			

JIS A 6909 防水形複層塗材REのシーラーレス塗り替え改修仕様例

平滑模様(ゆず肌)/凹凸模様

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地改修工事	下地改修工事が必要な場合は、下地調査結果に基づいて、塗装工事前に実施する。						
下地調整	活膜を残し、膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺部分を含めて入念に除去する。 ごみ、砂じん、油分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
中塗り1	ニッペDANフィラーエポS	1	0.80~1.30	4時間以上	水道水	5~10	吹付け(タイルガン)
中塗り2	ニッペDANフィラーエポS	1	0.40~0.90	16時間以上	水道水	平滑模様 5~10 凹凸模様 0~3	吹付け(タイルガン)
中塗り3	オーデフレッシュ共通中塗	1	0.12~0.17	3時間以上	水道水	5~10	ウールローラー エアレススプレー
上塗り	スーパーオーデフレッシュSi	1	0.12~0.17	—			

※フィラーを薄膜仕様で用いる場合に、リフティングなどのおそれがありますので、上塗りに強溶剤系塗料の適用は避けてください。

※旧塗膜は、健全な状態であることを想定しています。

※塗り替えの場合で下地が弱い場合や吸い込みが大きい場合、または新設塗装工事の場合には、シーラーを下塗りしてください。

※旧塗膜が高弾性塗膜の場合は適用できない場合があります。

※適用可能な上塗り塗料・下塗り塗料については、裏面別表をご参照ください。

※上記の数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。

塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をもちってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)

※カタログに記載されている内容は一般的な環境下での施工を想定して記載されております。

特別な環境が想定される施工現場・部位に塗装される場合は、事前に必ず当社営業所までご相談いただきますようお願いいたします。

※その他、詳しくは最寄りの営業所までお問合せください。

塗り替え

新設

JIS A 6909 防水形複層塗材RE				平滑模様(ゆず肌)/凹凸模様			
工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
素地調整	ごみ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	ファイン浸透シーラー 透明	1	0.16～0.20	4時間以上	無希釈	—	ウールローラー、はけ エアレススプレー
	ファイン浸透シーラー ホワイト						
中塗り1	ニッペDANフィラーエポS	1	0.80～1.30	4時間以上	水道水	5～10	吹付け(タイルガン)
中塗り2	ニッペDANフィラーエポS	1	0.40～0.90	16時間以上	水道水	平滑模様 5～10 凹凸模様 0～3	吹付け(タイルガン)
中塗り3	オーデフレッシュ共通中塗	1	0.12～0.17	3時間以上	水道水	5～10	ウールローラー エアレススプレー
上塗り	スーパーオーデフレッシュSi	1	0.12～0.17	—			

【新設仕様の注意点】

※下塗りはぬれ感がでるまでも目安にしてください。素地への吸い込み箇所がある場合には、その部分を増し塗りしてください。

※適用可能な上塗り塗料・下塗り塗料については、別表をご参照ください。

※上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。

塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)

製品体系					適用下地	
商品名	系統名	容量	色相	つや	●改修面の各種旧塗膜(アクリルリシン・吹付けタイル、その他旧塗膜) ●新設面の各種素材(現場打ちコンクリート、モルタル、ALCパネル など)	
ニッペDANフィラーエポS	可とう形改修塗材RE主材 防水形複層塗材RE主材	16kg	白	—		

適用上塗り塗料例		適用下塗り例(新設時)	
水性	グランセラトップ 1液水性、グランセラトップ 2液水性、アブラウドシェラスターⅡ スーパーオーデフレッシュSi・F、パーフェクトトップSi、DANシリコンセラー オーデフレッシュシリーズ(U100Ⅱ・Si100Ⅲ・F100Ⅲ)、DANタイル水性上塗	水性	水性カチオンシーラー(透明・ホワイト)
	弱溶剤	弱溶剤	ニッペファイン浸透シーラー(透明・ホワイト) ファインパーフェクトシーラー(透明・ホワイト)
弱溶剤		強溶剤	ニッペ浸透性シーラー(新)

注1) 上塗り塗料に1液ファインシリコンセラーUVを塗装する場合には、ニッペ1液ファインウレタンU100弾性添加剤を必ず添加・混合して塗装してください。(塗料:添加剤=20:1)
※フィラーを薄膜仕様で用いる場合では、リフティングのおそれがありますので、上塗りに強溶剤系塗料の適用は避けてください。
※上塗りはつや有りのみ適用可能です。つや調整品の適用は避けてください。
なお、グランセラトップ1液水性、グランセラトップ2液水性、グランセラトップ2液ファイン、アブラウドシェラスターⅡ、スーパーオーデフレッシュSi/F、パーフェクトフレッシュSi/F、オーデフレッシュシリーズ、DANタイル水性上塗はつや有り・7分つや有り・5分つや有り・3分つや有りが適用できます。(アブラウドシェラスターⅡ、スーパーオーデフレッシュF、オーデフレッシュF100Ⅲの3分つや有り、およびDANタイル水性上塗の7分つや有りは調色できません)
ただし、グランセラトップ1液水性のつや消しの適用が可能です。
※上記以外の適用およびJIS A 6909性能の組み合わせについての詳細は、お近くの営業所までお問合せください。

ニッペ DANフィラーエポS 施工上の要点・注意事項		(詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などにてご確認ください)
1. フィラーを薄膜仕様で用いる場合に、強溶剤系塗料を上塗りするとリフティングのおそれがありますので適用を避けてください。 2. 絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水溶性成分が表面に溶出し、粘着物などとなって析出するおそれがあります。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、やむを得ず塗装する場合は、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。 3. 蓄熱しやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業サイディング、発泡ウレタン使用建材など)を使用した「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弾性リシン、弾性スタッコ、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階ですでに旧塗膜が膨れていることがあります。そのまま塗装すると膨れがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、建材の変形、塗膜の膨れ、はく離が生じることがありますので、最寄の営業所などにご相談ください。 4. 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。 5. DANフィラーエポSは経時により流動性が低下しますので、水希釈前には必ず流動性が発現するまで、よくかはんしてください。 6. 規定の水希釈率を超えたり、規定の使用量以下で塗装した場合は、期待する弾性機能が発揮されないおそれがあります。 7. 塗り替える場合で下地が著しい弱な場合や吸い込みが大きい場合、または新設塗装工事の場合には、シーラーを下塗りしてください。 8. 旧塗膜が高弾性塗膜の場合は適用できない場合があります。 9. 弾性塗料は塗膜がのびるでクラック追随性を有しますが、地震・台風・軟弱地盤など予想を越えた震動、従来の壁と違った特殊構造(特殊な力)などにより、本来のクラック追随性を発揮できない場合があります。 10. 塗装後、養生テープはナイフカットして取り外してください。 11. 本品の上塗りに弾性適性のある上塗り以外の塗料を使用しますと、上塗り塗膜にクラックが入りやすく、付着性・耐候性などが低下しますので避けてください。 12. 塗装後、乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風のない場合には、膨れ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気分を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後拭き拭き除去してください。 13. スプレーの先端は、ときどき水洗いをしてください。作業能率の低下および塗りむらの原因になります。 14. 乾燥条件によっては塗膜表面に粘着を感じることがありますが、時間とともになくなります。	15. 反応硬化タイプの塗料のため、使用後のけなどはできるだけ早く水洗で洗浄してください。固まった場合は、すみやかにラッカーシンナーで洗浄してください。 16. 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこなおそれがあります。 17. 既存塗膜のはく離箇所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。 18. 改修工事にご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこなおそれがあります。 19. 風化面・吸込みの著しい下地では、ニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ1液ファインパーフェクトシーラー、ニッペファインパーフェクトシーラー、ニッペファイン浸透シーラーをご使用ください。なお、使用量は濡れ感が出るまでを目安とし、素地への吸い込み箇所がある場合はその部分を増し塗してください。 20. シーリングの上に、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。 21. 素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケツ科学社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケツ科学社製Hi500シリーズ:コンクリートレンジで測定した場合)の条件で塗装してください。 22. 表面のごみ、ほこり、エプロレンセス、レイタスなどは除去し、目塗り、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。 23. ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において巣穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材(ニッペ1材カチオンフィラー、ニッペ1材フィラー#200)などで処理してください(合成樹脂エマルジョンパテの使用は避けてください)。 24. 材齢の若いコンクリートなどセメント成分が十分に硬化していない場合、エプロレンセスが発生するおそれがありますので溶剤系シーラーをご使用ください。 25. 新設の押出成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材としてニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ1液ファインパーフェクトシーラー、ニッペファイン浸透シーラーをお使いください。 26. 開缶後放置する時は皮が張らないようにポリエチレンシートなどでシールし、保管してください。 27. 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。 28. 塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分にしてください。 29. 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分にを行い、火気厳禁にしてください。 30. 飛散防止のため必ず養生を行ってください。	31. シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離などの不具合を起こすことがありますので、原則として行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペブリードオフプライマーを下塗りすることで、可塑移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。 32. 薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。 33. 大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。 34. 汚れ、きずなどにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。 35. ローラー、はけなどにより、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するかと、専用でください。 36. 塗料は内容物が均一になるようによくかはんしてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、よくはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかはんしてご使用ください。 37. 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。 38. 開缶後は皮張りしやすいため、表面にうすく希釈剤を張り、ふたをしておくと、皮張りを運くことができます。 39. 大気中の浮遊鉄成分が多い地域では、この鉄成分が塗膜表面に付着し、塗膜が赤褐色に変色したように見える場合があります。 40. 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。 41. 内容物／容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。 42. 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

●本カタログの内容については予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。
●本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
●©Copyright 2026NIPPON PAINT CO.,LTD. All rights reserved.
●日本ペイントホームページ <https://www.nipponpaint.co.jp/>

日本ペイント株式会社		
北海道支店 ☎011-370-3101	近畿支店 ☎06-6455-9608	カタログNo. NP-E137 TY260905H 2026年9月現在
東北支店 ☎022-232-6711	中国支店 ☎082-281-2180	
関東支店 ☎03-5479-3614	四国支店 ☎0877-56-2346	
北関東信越支店 ☎03-5479-3614	九州支店 ☎092-751-9861	
中部支店 ☎052-461-1960		